

2024年7月8日

アウディ、潮風による塩害から電気自動車用充電器を守る ボックスを自社開発し、屋久島の普通充電器2基に設置完了

- 海辺に設置する電気自動車用充電器を塩害から守るボックスを自社開発
- 自動車メーカーとして初の試みで屋久島の持続可能性に貢献

アウディ ジャパン（東京都品川区、ブランド ディレクター：マティアス シェーパース）は、海辺に設置する電気自動車（EV）用充電器の塩害を防ぐボックスを自社開発し、THE HOTEL YAKUSHIMA Ocean & Forest（鹿児島県熊毛郡、代表取締役社長：後藤 慎、以下、THE HOTEL YAKUSHIMA）の8kW普通充電器2基に初めて設置しました。

潮風に含まれる塩分は、電気機器を腐食させたり劣化させたりして、機器の不具合の原因となります。THE HOTEL YAKUSHIMAは雄大な東シナ海を望む海岸沿いに建つホテルで、EV充電器の設置には塩害を防ぐ対策が必要でした。この度アウディが自社で開発したEV充電器用耐塩害ボックスには、SUS(304)というニッケルを多く含んだ耐食性に優れたステンレス鋼板を採用し、塩害を防ぐ強力な特殊塗料を塗布しており、潮風の塩分から充電器を守ります。また、海岸沿いに吹く強い風にも耐えられるよう、充電器をアンカーボルトで強固に固定しています。一方で、充電の利便性を損なわないよう、ボックス中央部に開口部を設けて充電ケーブルを通し、ボックスの扉を閉めたままでの充電を可能にしました。開口部にはブラシを付けることで、充電時のケーブルの動きにも対応できるよう工夫しています。充電器設置を拡大するととどまらず、各地域の自然と共存できるような設備を整えることが、EVを普及させる上でも大事なことでありと認識し、専門家のアドバイスやガイドラインを参照して、本設備を開発しました。

同ホテルでは、アウディの電気自動車e-tronの[レンタカーサービス](#)を運営しており、今回耐塩害ボックス付き充電器を設置したことで、屋久島での電気自動車の利便性の更なる向上が期待できます。

本取り組みは、アウディが屋久島町（鹿児島県熊毛郡、町長 荒木 耕治）、アウディ正規販売店を運営する株式会社ファーレン九州（鹿児島県鹿児島市、代表取締役社長：金氣 重隆）と、2023年7月に締結した[包括連携協定](#)に基づくものです。

アウディでは屋久島での取り組みのほかにも、独自の電動化戦略に基づき、BEVの利便性向上のために8kW普通充電器の設置を全国で進めており、6月末時点ですでに103か所202基の設置が完了しています。また、急速充電器としては、アウディ、フォルクスワーゲン、ポルシェのBEVオーナーを対象に提供する、最大150kWの急速充電ネットワーク、プレミアム チャージング アライアンス（PCA）を展開し、さらに都市部のユーザー向け蓄電池型超急速EV充電施設Audi charging hub（アウディチャージングハブ）の運営も行う等、各地のニーズと環境に準じた充電ネットワークの拡充に努めています。

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社
アウディ ジャパン 広報部

アウディ ジャパン プレスサイト
<https://www.audi-press.jp/>

報道関係者お問い合わせ：
<https://audi-press.jp/contact/>

お客様お問い合わせ：
アウディ コミュニケーション センター
0120 - 598106





アウディ グループは、プレミアムおよびラグジュアリーセグメントの自動車およびオートバイのメーカーです。グループに属するアウディ、ベントレー、ランボルギーニ、ドゥカティのブランドは、12 カ国 21 か所で生産されています。アウディとそのビジネスパートナーは、世界 100 以上の市場に存在しています。2023 年、アウディ グループは、190 万台のアウディ、13,560 台のベントレー、10,112 台のランボルギーニ、および 58,224 台のドゥカティを販売しました。2023 会計年度において、アウディ グループは総収益 699 億ユーロ、営業利益 63 億ユーロを達成しました。世界中で、アウディ グループでは 2023 年に 87,000 人以上が働き、そのうち 53,000 人以上がドイツの AUDI AG で働いていました。魅力的なブランド、新しいモデル、革新的なモビリティサービスにより、グループは持続可能で個性的なプレミアムモビリティプロバイダーへの道を着実に歩んでいます。
